

# 感染と予防

prevention of Infection

No.09

## 麻疹(はしか)に備える

今、全国的に麻疹(はしか)の流行が問題となっています。日本では麻疹ワクチンを定期接種として実施するようになってから発生は減少しており、2015年にはWHOより「麻疹が排除状態にある国」として認められました。しかし、今回は、海外で麻疹に感染した旅行者によって国内に持ち込まれ、日本の中で流行してしまいました。今号は、なぜ麻疹の流行は起きてしまったのか、また、どのような感染対策が必要なのかを再認識しながら、感染対策に備えましょう。

株式会社 健康予防政策機構 代表・医師 岩崎 恵美子



### 麻疹の基礎知識

麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力がきわめて強く、さまざまな重篤な合併症を引き起こすため注意すべき感染症の一つです。以下に、麻疹の症状と感染経路を示します。

#### 症状

- 潜伏期間：10～12日間
- 発熱、咳、鼻汁といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、一時的に熱は下がりますが、すぐに39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- 特徴的な症状は「コプリック斑」(口腔内の頬の裏側に白色の小さな斑点)と、その後、体表全体に現れる鮮紅色の発疹です。
- 全体の約30%が合併症を引き起こすと言われています。特に小児では、肺炎、中耳炎を合併しやすいので、注意が必要です。まれに、麻疹にかかった数年後に発生する亜急性硬化性脳症などの中枢神経疾患を発症することもあります。
- 一度感染して発症した場合には、一生「免疫」が持続します。



#### 感染経路

口の中に潰瘍ができ、口の粘膜や唾液の中にウイルスが含まれるため、唾液の飛沫によって感染します(飛沫感染)。また、その飛沫粒子に触った手を介して接触感染する場合があります。

さらに、感染力が非常に強いため、感染者と同じ部屋に長時間いると感染することもあり、空気感染の可能性もあります。他者へ感染させる恐れは、発疹が出る1日前から、発疹出現後4～5日位までです。

麻疹は、学校保健安全法により、学校感染症第二種※に指定されており出席停止期間は解熱後3日を経過するまでとなっています。

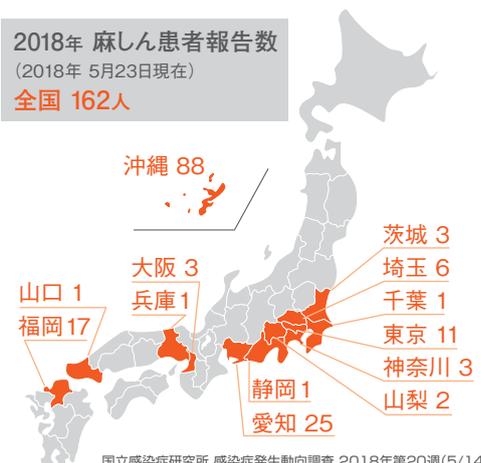
※学校感染症第二種…空気感染又は飛沫感染するもので、児童生徒等の罹患が多く、学校において流行を広げる可能性が高い感染症

### 麻疹患者の発生状況

今回の流行の発端は、今年3月に台湾から沖縄を訪れた旅行者によるものとされています(訪日前に渡航していたタイで感染したと考えられています)。沖縄での流行は既に終息をむかえています。愛知や福岡、神奈川、東京などで感染が拡大しています。

この事例の他、渡航先で感染した症例、感染経路が不明なもの等も含めると、今年、国内で発生した麻疹患者数は162人となります。近年での発生患者数は2017年が187人、2016年は165人でした。

2018年 麻疹患者報告数  
(2018年 5月23日現在)  
全国 162人



## なぜ、感染が拡大したのか？

麻疹は免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われ、**ワクチン接種が最も有効な対策**です。さらに、1回のワクチン接種だけでは、私たちの体の中に、麻疹に対する十分な抗体が作られないため、**2回の接種が必要**です。しかし、日本には、この2回のワクチン接種が不十分な世代があります。1990年4月2日以降に生まれた人は、2回接種が定着していますが、それ以前に生まれた人は1回しか接種していない可能性があります。このような世代がいる日本は、麻疹が感染拡大しやすい環境と考えられます。海外では、日常的に麻疹が流行している地域も少なくありません。そのような地域を麻疹抗体を十分に持たない日本人が旅行した場合には、麻疹に感染して帰国し、麻疹ウイルスを持ち込むこととなりますので、注意が必要です。海外旅行前には、**母子健康手帳を確認し、2回接種をしていない場合は、ワクチン接種を受けましょう。**

### 麻疹ワクチン接種について

- 1996年～ 任意接種開始
- 1978年～ 定期接種(1回)開始  
※対象:1～7歳半
- 2006年～ 定期接種(2回)開始  
※対象:1歳、就学前
- 2008～2012年  
中学1年生、高校3年生に相当する年齢に2回目の補足的接種

## 麻疹の感染対策

### 2回のワクチン接種

麻疹は、手洗いやマスク着用のみでは予防することができず、**ワクチン接種が唯一の予防方法**です。現在日本では、**麻疹と風疹の混合ワクチン(MRワクチン)**が定期接種に導入され、第1期は1歳児、第2期は小学校入学直前の1年間としています。

### ワクチンは2回接種!



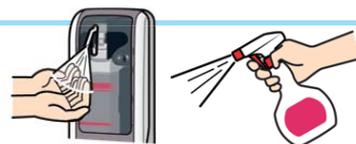
### 汚染を広げないために — 飛沫感染・接触感染対策 —

麻疹ウイルスは空気感染をすることがよく知られていますが、インフルエンザのように、飛沫感染や接触感染もします。手を介して汚染を広げてしまうことも多いので、**手洗い**を励行しましょう。また、麻疹ウイルスはエンベロープを持つウイルスのため、消毒薬は比較的効きやすく、手指消毒や手が頻繁に触れる箇所の**環境清浄**などでは、**アルコール製剤**が使いやすく、効果的です。

感染対策の基本  
は手洗い



エンベロープを持つウイルスに  
アルコール製剤は有効



母子健康手帳は、妊娠、出産、子供の健康、予防接種までを1冊にまとめた手帳です。1942年に妊産婦手帳として始まり、戦後の健康水準改善に大きく貢献したそうです。普段見直す機会のないものですが、この機会に一度手に取ってみてはいかがでしょうか。以外な発見があるかもしれませんよ。

私達サラヤが出来ることは、世界中に手洗いを広げること。手洗いで皆様の健康向上に貢献したいと願っております。

編集チーム  
のつぶやき

どこにも手を触れず  
石けんでの手洗いが完了

センサーによる自動手指洗浄器  
衛生面を向上! コスト面を削減!



泡状石けんと  
水が自動で出る

自動手指洗浄器  
サニタリープレート  
SARAYA WS-P2SNF

ご質問・ご感想はこちらまでどうぞ [✉ kansen-yobo@saraya.com](mailto:kansen-yobo@saraya.com) [感染と予防](#) [検索](#) [pro.saraya.com/kansen-yobo](http://pro.saraya.com/kansen-yobo)

**SARAYA**  
http://pro.saraya.com/

サラヤ株式会社  
東京サラヤ株式会社

東京サラヤ株式会社 公衆衛生部内「感染と予防」編集部  
〒140-0002 東京都品川区東品川1-25-8 TEL:03-5461-8163  
© 2016 Saraya Co.,Ltd. All Rights Reserved. 本資料の無断転載を禁じます。